

つなぐれ  
ひろぐれ  
地域福祉!  
シリーズ48

# 『出会い、つながる オレンジカフェ in 城西ヶ丘』

「オレンジカフェ」とは、認知症の人と家族、地域のみなさん、介護や福祉の専門家など、誰でも自由に気軽に集える場所、お互いを理解し合う場所です。認知症について知る、学ぶ、考えることもでき、新たな出会い、地域とのつながりの場ともなります。

5月26日(日)、城西ヶ丘見守りネットワーク「むすび愛」主催で、オレンジカフェ in 城西ヶ丘が開催されました。城西ヶ丘では2018年10月からオレンジカフェを開催しており、今回で10回目となりました。参加費は100円です。

当日はスタッフも含め72人が参加しました。この日は初めて河東中の生徒11人がボランティアとして参加し、会場準備や受付、テーブルのお花の準備などに協力していました。

最初に田縁典子さんの音楽療法。音楽リズムに合わせて自然に体が動き、鈴の音色も心地よく、みな笑顔で会場の雰囲気が一気に明るくなりました。音楽にのせて新聞紙をビリビリ破って丸めて、ス

トレス解消にもなりました。

その後はコーヒー、お茶を飲みながらゆっくりおしゃべりタイム、情報交換の時間です。ここでは毎回どら焼きが提供されていて楽しみの一つとなっています。

おしゃべりタイムの間、にじいろほけつとによるハンドマッサージを受けてリラックスしたり、相談がある人は、河東地域包括支援センター職員の対応により、和やかな雰囲気で行われました。

最後に本会認知症地域支援推進員が、認知症を正しく理解する講座を行いました。

今回のオレンジカフェは中学生の参加により、終始会場の雰囲気が明るく、笑顔であふれていました。中学生からも地域の人との交流を通して、「楽しかった」「認知症

について身近に感じることができ、理解を深められた」という感想がありました。

また、参加者に「こんなまちになったらいいな」というテーマで、付箋にメッセージを記入してもらいました。「認知症であってもなくても、地域で安心して暮らしていけるように、お互いを理解し合い、思いやりを持って笑顔で声をかけ合え、支え合えるまちになったら・・・」そんなメッセージが多くありました。

これからも自由に気軽に集える場であるこの活動を応援したいと思います。

次回オレンジカフェ in 城西ヶ丘は、11月24日(日)に開催予定です。

(地域支え合い推進員・伊藤)



## 社協だより

213号  
令和6年8月号

発行  
社会福祉法人  
宗像市社会福祉協議会  
〒811-3437 宗像市久原180  
メイトム宗像2階  
TEL 0940-37-1300



河東中の生徒がお出迎え!



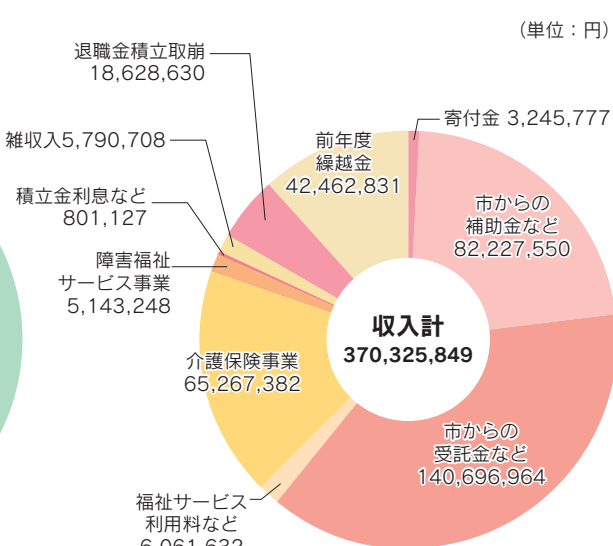
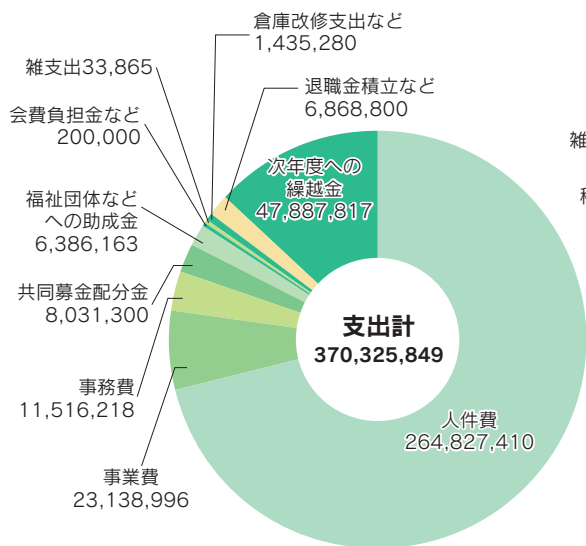
田縁さんの音楽療法  
音楽リズムに合わせて、身体を動かし、  
歌を歌って、みんな笑顔!



認知症地域支援推進員による講座



福祉ボランティア  
にじいろほけつとによる  
ハンドマッサージでリラックス



**令和5年度決算報告**

**市民の福祉向上を目指して**

市社会福祉協議会は、市からの補助金・委託金をはじめ、共同募金配分金、介護保険報酬のほか、香典返しなどの寄付金で運営しています。

これらの財源を地域での福祉活動や福祉教育、ボランティア活動、介護保険事業などに有効に活用し、市民のみなさんの福祉向上を目的に活動をしています。

令和5年度の決算状況は次のとおりです。